

目 次

はしがき	1
I 総合災害としての台風災害	1
1 台風災害の位置	2
2 災害に結びつく台風の3大特徴	5
2・1 中心部の異常な気圧下降	5
2・2 猛烈な暴風	6
2・3 ばく大な降雨量	17
3 総合災害としての台風災害	19
II 災害の歴史性と地域性	21
1 災害の歴史性	23
1・1 太古からあって現在も恐れられている災害	23
1・2 昔は大災害であったが、現在は被害が局地化 あるいはいちじるしく減少したもの	24
1・3 古くからある災害だが、新しい形態を帯びてきているもの	27
1・4 近年新たに起った災害	28
2 災害発生の不連続性	29
2・1 災害多発の契機	29
2・2 災害発生の周期特性	31
3 災害の地域性	34
3・1 自然条件による地域性	34
3・2 社会条件による地域性	42

4	災害観	43
4.1	日本人の災害観	43
4.2	外国人の災害観	57
III	災害現象と災害構造	67
1	典型災害の現象と構造	70
1.1	水 害	70
1.1.1	最近の水害概観	70
1.1.2	利根川の洪水と水害	74
1.1.3	筑後川の洪水と水害	84
1.1.4	伊勢湾台風の水害	92
1.1.5	水害発生の構造	105
1.2	震 災	126
1.2.1	震災の概況	126
1.2.2	地震の激しさ	128
1.2.3	震災を拡大・激甚化する火事	131
1.2.4	地盤軟弱地帯と震災	132
1.2.5	津 波	134
1.2.6	震災発生の構造	140
1.3	冷 害	143
1.3.1	冷害の起る地域	143
1.3.2	冷害の発生機構	145
1.3.3	冷害対策の発展	148
1.3.4	冷害対策上の問題点	149
1.3.5	冷害の発生構造	156
1.4	大気汚染害	158

1.4.1	大気汚染害の発生概況	158
1.4.2	大気汚染害と抵抗力	164
1.4.3	大気汚染害と地理的環境	166
1.4.4	汚染質の種類とその害	166
1.4.5	大気汚染規制の実情	170
1.4.6	大気汚染害の発生構造	174
1.5	水質汚濁害	178
1.5.1	水質汚濁害の概況	178
1.5.2	東京の悪水	179
1.5.3	大阪の悪水	181
1.5.4	名古屋の悪水	183
1.5.5	都市と川	184
1.5.6	放射能と水質汚濁	185
1.5.7	本州製紙事件	187
1.5.8	水質汚濁害の発生構造	189
1.6	地盤沈下害	195
1.6.1	地盤沈下の概況	195
1.6.2	東京・大阪における地盤沈下害	197
1.6.3	福岡県の鉱害	205
1.6.4	新潟の地盤沈下	208
1.6.5	地盤沈下害の発生構造	212
1.7	火災発生の構造	214
2	災害現象の総括	217
2.1	災害の概念	217
2.2	災害発生現象	220
2.2.1	災害の生成・消滅(衰退)・発展	220

2・2・2	地理的環境と災害現象	222
2・2・3	被害主体の性質と災害現象	224
2・2・4	災害と経済の発展	228
3	災害構造の総括	235
3・1	災害の基本構造	235
3・1・1	災害の3大要因	235
3・1・2	被害の社会構造	243
3・1・3	災害の基本構造	247
3・2	災害の悪循環	253
3・3	災害の経済構造	254
3・3・1	災害要因と経済構造	254
3・3・2	災害の必須要因と財政投資	256
3・3・3	災害の必須要因と企業	258
3・3・4	災害の拡大要因としての住宅	260
3・3・5	災害と地価	263
3・4	資本主義と災害	265
IV	災害対策論	267
1	災害と科学・技術	271
1・1	序 論	271
1・2	研究の組織と体系	272
1・2・1	研究組織の非総合性	272
1・2・2	研究と防災の実施計画	275
1・3	防災科学の方法	277
1・4	自然科学と社会科学の総合	281
2	予算・行政と災害	284

2・1	災害対策基本法	284
2・2	災害待ちの防災対策	285
2・2・1	崩壊後の砂防工事	286
2・2・2	気象観測網	286
2・3	防災は隠れみの	288
2・4	官庁間の縄張り争い	292
2・5	国民のための総合開発	296
3	法律による災害対策	299
3・1	災害対策基本法	299
3・2	河川法	300
3・3	工業用水法	304
3・4	水質汚濁規制法	305
3・5	ばい煙規制法	307
4	災害対策の主体論	310
4・1	災害対策実施の契機	310
4・1・1	石狩川の水質汚濁害	310
4・1・2	岐阜県荒田川の水質汚濁害	311
4・1・3	瀬戸内海の水質汚濁害	311
4・1・4	ダム災害	312
4・2	災害対策主体の形成	312
4・3	災害対策主体の問題点	315
付	災害の種類と分類	321
1	災害の種類	321
1・1	風 害	321
1・2	乾 風 害	321

1.3	風 塵	321
1.4	潮 (塩) 風害	321
1.5	雨 害	322
1.6	水 害	322
1.6.1	土石流 (山津波ともいう)	1.6.2	山 (崖) 崩れ
1.6.3	土砂流	1.6.4	洪水害
		1.6.5	湛水害
1.6.6	人工水害		
1.7	雷 災	323
1.8	雪 害	323
1.9	な だ れ	324
1.10	雹 害	324
1.11	干 ば つ	324
1.12	渴 水	324
1.13	塩 (水) 害	324
1.14	高 潮 害	324
1.15	波 浪 害	325
1.16	震 災	325
1.17	津 波	325
1.18	火 山 爆 発	325
1.19	海 岸 浸 蝕	325
1.20	地 沈 り	326
1.21	地盤沈下害	326
1.22	冷 害	326
1.23	霜 害 (凍害)	326
1.24	寒 害	327
1.25	凍 上 害	327
1.26	酷 暑 害	327

1・27 霧 害	327
1・28 スモッグ	327
1・29 大気汚染害(煙害)	327
1・30 湿 害	328
1・31 燥 燥 害	328
1・32 大火・山火事	328
1・33 水質汚濁害(鉍毒害もふくむ)	328
1・34 騒 音 害	328
1・35 労働災害	328
1・36 職 業 病	329
1・37 交通災害	329
1・38 放射能害	329
1・39 虫 害	329
1・40 鼠 害	329
1・41 野獣害, 鳥害	329
1・42 風 土 病	329
1・43 薬 害	330
2 災害の分類と類型化	330
2・1 発生原因を指標とする分類	330
2・2 地域社会的指標による分類	332
2・3 被害対象の性格を指標とする分類	333
2・4 災害の類型化	334
参考文献	337
索 引	339